

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行

9条改憲に反対する署名 豊田市から国会へ

安倍首相は5月3日の憲法記念日に、改憲を求める集会にビデオメッセージで「憲法9条に自衛隊を明記すべきだ」と述べました。自衛隊の違憲論争に終止符を打つ、とも述べました。

念日に、改憲を求める集会にビデオメッセージで「憲法9条に自衛隊を明記すべきだ」と述べました。「自衛の措置」として自衛隊を明記する条文案をまとめています。2項の後に、「自衛の措置をとることを妨げるものではない」として自衛隊を明記する条文案をまとめています。「自衛の措置」には集団的自衛権が含まれ、9条2項の制約（戦力を保持しない。国の交戦権は認めない）が自衛隊には及ばなくなりま



署名2072名分

海外での無制限の武力行使に道を開く——これが安倍9条改憲の正体です。

日本共産党豊田・みよし市議団は4月下旬、豊田市と、みよし市で日本共産党として集めた9条改憲ノ一署名2072名分を、東海選出の国会議員に届けました。(上写真。右から本多市議選予定候補



豊田革新懇が毎月3日宣伝 5月3日の憲法記念日も

補、牧田みよし市議、根本市議、大村市議、井上参院議員、もとむら参院議員、たけだ参院議員)

憲法記念日の5月3日には、豊田革新懇(平和と民主主義・革新統一をすすめる豊田懇談会)が豊田市駅前、「アベ政治を許さない」宣伝を行いました。(右写真)豊田9条の会、新婦人の会などとの共同行動で、9条改憲ノ一署名を呼びかけると、高校生たちが足を止め、署名に応じました。根本みはる市議も宣伝に参加しました。

第18回平和リレー講座に44名参加 戦争の事実を語り継いで

実行委員会事務局 柏木義孝

豊田市各地の戦争遺跡を訪ね証言を聞く「平和リレー講座」は4月29日、44人が2台のマイクロバスに分乗し、7ヶ所を回りました。



高岡地域は昭和2年、中国侵略、アジア太平洋戦争へと向かう中、天皇が臨席し、全国から大軍を集めての大軍事演習が行われた地でした。その後も、昭和16年まで6回の演習をこの地で行っています。古くは明治44年大正天皇が皇太子の時期にも演習が行われ、その記念に御乗替橋(おのりかえばし)として地名が残っています。

昭和20年、学童疎開中の児童が三河地震で犠牲になった



徳念寺に行き、当時4年生の地元の方にお話を聞きました。悲しい出来事として記憶されていました。竹村の名鉄電車襲撃の現場に立ち、終戦前日トヨタを狙った5トン爆弾と同じ作戦で乗客70名近い犠牲者が(死者7名?)出ました。現場には慰霊碑もなく参加者からお地蔵さんがあればという声。戦争に大きくかかわっていたこの地域が、今は平和な田園と工場群となつています。語り継いで、歴史を埋もれさせないため、今後も聞き取り調査を続けま

す。詳しい内容は「豊田市平和を願う戦争展」(8月25日)26日 豊田産業文化センター)に展示されます。ぜひお越しください。

名鉄バス 廃止問題

京ヶ峰・東山町など従来のバス停
おいでんバスが走ります

名鉄バス東山住宅線・九久平路線の10月からの廃止は、住民にとって大きな影響です。3月議会で、根本みはる市議が「利用されている住民の皆さんに影響が出ないように」市の対応を求めています(左写真)。おいでんバスの代替路線が検討され、先日、ルート案・ダイヤ案について、



豊田市議会への説明がおこなわれました。沿線住民からは、「おいでんバスで、今までのバス停が使えるようにしてほしい」との要望が強く出されていたものです。

市の説明では、東山住宅線は、おいでんバスの「豊田・渋谷線」が渋谷3丁目バス停から、東山町・京ヶ峰・初吹



団地・高橋支所前(新設)を循環し、東山町5丁目経由で、豊田市行きの路線となります。高上1丁目バス停は、「旭・豊田線」の新設のバス停になり、従来のバス停に加え、新設のバス停を増やす案が示されました。九久平線は、おいでんバスの「下山・豊田線」に、九久平系統を新設し、これにより、「中垣内」バス停の利用者が、豊田市駅まで、乗り換えなしで行くことができます。

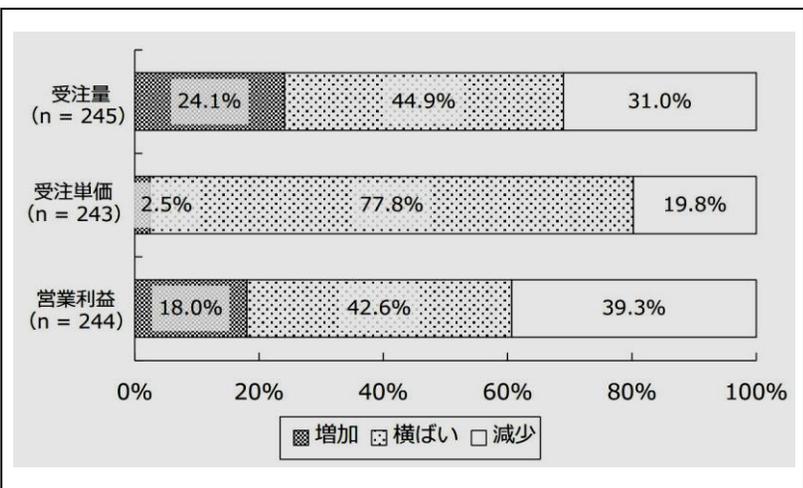
運賃は、名鉄バス「東山住宅線」が270円でしたが、豊田・渋谷線になると、200円に下がり、「九久平」系統は500円が300円に下がり、使いやすくなります。今後、さらに使いやすい公共交通に向けて、検討が求められています。

市内中小企業実態調査
4割が「営業利益減少」

豊田市が定期的に取り組んでいるアンケート調査「ものづくり中小企業基礎調査」の報告書が発表されました。

トヨタ自動車の3月期決算が最高益で発表される中、市内の中小企業は、苦しんでいる実態が出ています。

前期からの業績の推移について、「受注量」は、「増加」「横ばい」を合わせて7割となつている一方、「受注単価」は「横ばい」が77%、「減少」が19.8%になっています。その結果、「営業利益」につい



て「減少」を見込んでいる企業が39.3%と多くなっています。左記グラフ参照
3～5年先の事業の見通しとして、65%の企業が「現在の事業規模を維持」とする一方で、「事業規模の縮小」7.7%や「休業または廃業」3.7%など、合わせて1割を超える事業所が事業を縮小したり休業、廃業したりするとしているのは深刻です。対策が必要です。

ご案内 戦争法廃止 憲法9条こわすな!

スタンディング 宣伝

5月19日(土)午後3時～ 豊田市駅デッキ

いつも時間帯が変わります

主催:戦争法廃止を求める豊田市民の会

暮らしの目線で 政治を変える、たしかな力



すやま初美



大村よしのり 豊田市議会議員



根本みはる 豊田市議会議員



本多のふひろ 豊田市議選予定候補

無料 法律・生活相談 おこなっています

◆毎週土曜日 午前10時～12時
◆法律相談は弁護士、生活相談は市議会議員が相談にのります。

◆要予約。お申し込みは党市議会議員か日本共産党西三地区委員会まで
Tel0564-23-2785